

教育実習の事前事後指導		単位数	履修方法	配当年次
		1	SR	3年以上
科目コード	EC4710	担当教員	吉井 宏・佐藤 暢芳	

※平成29年3月までの教育実習事前指導スクーリングを受講し、29年7月までに「教育実習」を終え、29年8月の「教職実践演習（高）」を受講する必要があります（p. 1参照）。

■科目の内容

教育実習は実際に生徒を対象として、教育の理論や技術、さらにその精神的基盤までも学び、研究する場です。教育実習者は未熟な学生でありながら、同時にその学校の教育活動の一翼を担う一人の教師という側面も持ちます。この大変怖いが魅力あふれる貴重な経験を2週間行うにあたっては、どのような心構えが必要か、また専門教養は最低どの程度もって実習に臨まなくてはならないか、理論に裏付けられた技術は最低限持っているのか、学習指導案や板書は万全か、など教育現場で戸惑うことのないよう、実習前に学び、確認しておく必要があります。また実習終了後は教科指導、生徒指導その他の実習の成果をまとめる必要があります。

■到達目標

- 1) 授業の内容をふまえ、学習指導案を適確に作成することができる。
- 2) 授業のポイントを押さえ、生徒を主体とした授業の展開ができる。
- 3) 知識の理解や現代社会との関連や現状について、板書を含めてわかりやすく説明することができる。
- 4) 教育実習に向けての意義・目的を理解し、心構えを説明することができる。
- 5) 教職課程における「教育実習の事前事後指導」の位置づけを説明できる。
- 6) 教育実習中の試行錯誤について、事後にその成果を文章として表すことができる。

■教科書

- 1) 事前指導スクーリング申込者に配付の『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）
 - 2) 「福祉科の指導法」の教科書『福祉科指導法入門』中央法規、2002年
 - 3) 「福祉科の指導法」の教科書『高等学校学習指導要領 解説 福祉編』海文堂出版、2010年
- ※事前指導スクーリング時に3冊の教科書およびガイダンス資料を持参してください。

■在宅学習9のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	教育課程の意義	教育実習とは何か。その意義について、教職課程を含む大学教育（講義）全体の体系から位置づけを知り、理解する。	教育実習と大学の教職課程でこれまで学んだこと（理論）とはどのような関係にあるかという点を基本に、無償の指導をして下さる実習校の先生方の立場も理解しつつ、優れた教師への第1歩を踏み始める意義を学び、理解することがポイントです。どのような教師像を描くか考えてみてください。
2	教育実習の目的・目標	教育実習の目的は、①人間形成に対する教育の重要性を身をもって知ること ②望ましい教育者精神や態度の習得 ③大学では到底不可能な研究、などが主なものであることを理解し、それらの目的に沿う目標を立てる必要があることを理解する。	大学教育の中の教育課程、さらにその中で実施される教育実習は、いつごろ、どのような手続きを経て実施されるか確実に把握しましょう。また無償で実習を受け入れてくれる学校側の立場には十分敬意を払いたいものです。それらの点を学んで、実習の心構えを作りましょう。
3	学習指導の原理	教科「福祉」の学問的特徴を学び、指導法を理解する。	教科「福祉」の考え方と学び方を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
4	教育課程と学習指導計画	教育課程（カリキュラム）と学習指導計画の特徴について、多角的に学ぶ。	旧カリキュラムと新カリキュラムの変更点を理解し、説明できるようにしましょう。
5	学習指導①	指導目標、教材研究、学習資料・教具の準備等について学び、授業の基本要素を理解する。	授業のアウトラインを理解し、必要な基本要素について考えてみましょう。
6	学習指導②	学習指導の形態・方法・技術等について学び、授業の具体的展開の基本要素を理解する。	授業の具体的な展開方法を理解し、効果的な授業のあり方について考えてみましょう。
7	学習指導案	指導案作成の意義と指導案作成の留意点について、多角的に学ぶ。	具体的な指導展開（指導過程）について、教材・教具の活用も図りながら考えてみましょう。
8	授業の検証	実施した授業について、指導教員や他教科の教員から指導いただき、多角的に検証する。	授業を客観的に検証し、生徒が主体的に学ぶために何が必要か考え、検証しましょう。
9	教科指導と生徒指導	教育実習を行うことで得られるもの一つに指導教員たちの教育技術がある。生徒たちをいかに授業に集中させるか、人間性を高めるか、技術がそこに果たす役割は少なくないが、その根底に教育的愛があることを学ぶ。	教育者精神、生徒の人格形成に寄与する意義、想像を超える膨大な教員の仕事内容等々、教育実習で学んだことは少なかつたはずですが。指導教員からはどのような指摘を受けたのでしょうか。教科指導、生徒指導両面からもう一度改善点を思い出しながら、どうすべきであったか考えてみましょう。

■レポート課題

〈実習事前レポート〉通信教育部で使用している手書き用レポート用紙のp. 1～8（パソコン印字の場合は左右40字×30行で2枚以内）に記入して、スクーリング受講後2週間以内に送付してください。

下記の(1)(2)の2つの問を合わせて2,000字以内でまとめなさい。

- (1) 教育実習の意義・目的について述べなさい。
- (2) 教育実習に臨むにあたってのあなたの心構えを述べなさい。

〈実習事後レポート〉

- (1) 実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。
- (2) レポートの内容は次のとおり

- ① 教科指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。
またその問題点をどのように改善したか。

[問題点の例] ここでいう問題点とは、指導教員から指摘された点、自分で工夫が足りなかったと感じた点を指す—たとえば、導入から展開のつながり、授業のヤマのもっていき方、発問の不足、無反応の授業、チョークの使い方などがあげられる。

- ② 生活（生徒）指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。

またその問題点をどのように改善したか。ここでの生活（生徒）指導とは部活動や委員会活動などのほかに、SHRやLHR、掃除時間など、教科指導以外すべての指導を指している。

- (3) 以上の①②の2つの点について、4,000字以上書くこと。

ただし①と②は、それぞれ項目ごとに書き、ゴチャ混ぜに書かないこと。また①と②の枚数の比率は自由。

- (4) レポート用紙は、4,000字以上記入すること（手書き用はp. 1～16を使用（用紙が足りない場合は別紙の付け足し可）、パソコン用は、左右40字×30行×4枚以上）。

■事前指導スクーリング

「教育実習の事前指導」のスクーリングは、仙台で開講します。詳しい開講日程は『試験・スクーリング情報ブック』をご覧ください。『With』巻末のハガキを使用してお申込みください。実習前に必ず受講し、講義中に「模擬授業」なども行っていただきます。毎年3月末に開講を予定しています（H27・28年度＝H28年3月末・H29年3月末に開講）。

申込みにあたっては、受講条件が課せられています。下記をご覧ください。また、3月末のスクーリングは4月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生—科目等履修生の変更など）。

■事前指導スクーリング・受講条件

「教育実習の事前指導スクーリング」受講申込締切日までに、下記の条件を満たしていることが必要です。

- (1) p. 37「大学からの依頼状発行条件」(1)～(2)を満たしていること。

※文部科学省の指導により、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です

(p. 40参照)。

- (2) 卒業要件単位を62単位以上（一括認定単位を含む）修得していること（3年次編入学者・科目等履修生はこの条件は不要）。
- (3) 下記の20科目中18科目の単位を修得していること。ただし、「介護実習」は教育実習事前指導スクーリングの受講申込締切日までに必ず終了していること。

66条の6に定める科目

①法の基礎（日本国憲法を含む） ②健康科学 ③コミュニケーション英語 ④情報処理Ⅰ

教職に関する科目

⑤教職論 ⑥教育原理 ⑦教育心理学 ⑧福祉科の指導法 ⑨高等学校教育課程の意義と編成 ⑩教育方法論（視聴覚教育等を含む） ⑪生徒指導論（進路指導を含む）

教科に関する科目

⑫介護概論 ⑬介護実習事前事後指導 ⑭介護実習 ⑮高齢者福祉論
⑯児童福祉論（21年度以降入学者は⑯児童・家庭福祉論）
⑰障害者福祉論 ⑱社会福祉原論（職業指導を含む）
⑲⑳社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ（21年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ⑳福祉心理学、23年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ㉑介護技術）

※他大学で修得した単位を教職免許のための科目に使用するためには、その科目が高等学校教諭一種免許状の課程認定を受けていることが原則です。出身校にご確認ください。入学時に提出していただいた証明書で確認できない場合は、あらためて提出していただく場合があります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位を修得する必要があります。認定単位の多い方は、ご注意ください。

また、上記の事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

- (4) 「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー1部を本学に提出済であること（p. 40を参照）。

(注) ただし、実習依頼のための書類は、p. 37のとおり①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論） ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の単位を修得した後でないとは発行できませんので、早めにこの8科目の単位を修得するようにしてください。

■スクーリング受講前の準備

とくに事前の提出課題はありませんが、各自で現場で戸惑うことのないように、スクーリング中、科目「社会福祉基礎」についての模擬授業を行いますので、指導案や教材・教具についての予習を行っておくとよいでしょう。なお、事前指導スクーリング申込者に送付している『中等教育実習の手引き』および「福祉科の指導法」で使用した『福祉科指導法入門』と『高等学校新学習指導要領 解説 福祉編』が教

科書なので、事前に読んでおいてください。また、スクーリング当日必ず持参してください。下記の参考図書も所持しているものは持参ください。

福祉科以外で実習を行う場合はその教科についての十分な事前準備が求められます。

■参考図書

硯川眞旬・佐藤豊道・柿本 誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房，2002年

保住芳美 編著『高等学校新学習指導要領の展開 福祉科編』明治図書，2010年

科目「社会福祉基礎」の教科書（中央法規等 各県の教科書供給所で購入が可）

※「福祉科」で教育実習をおこなう場合は所持が望ましい。